

岩手県学校農業クラブ連盟大会 遠野緑峰高校、県最優秀賞4部門

同大会は、6月27・28日に県立花巻農業高校で、7月3日にJ A全農いわて中央家畜市場で行われ、緑峰高校の生徒が大活躍しました。最優秀賞を受賞したのは、摘花された花をホップ和紙の染料に再利用する方法を発表した草花研究班。琴畑かぶの商品開発と知名度拡大について発表した野菜果樹研究班。緑峰高校農業クラブの年間を通した取り組みについて発表した農

業クラブ役員の2年生。牛の体型や肉付きの良さを見分ける家畜審査競技に出場した佐々木脩泰さんの3組1個人です。草花研究班と野菜果樹研究班、農業クラブ役員は、8月に秋田県で開催される日本学校農業クラブ東北連盟大会の出場が決定。草花研究班の佐々木あゆなさんは「全国大会に行けるよう、しっかりと準備をして東北大会に挑みたい」と意気込みました。

プロジェクトⅡ類 「開発・保全・創造」

生産技術科 3年 草花研究班 (敬称略)

前列左から／菊池亜優那、高橋美羽、佐々木あゆな 後列左から／照井幸汰、菊池祐矢、小笠原季也、菅田裕斗、菊池虎太郎



プロジェクトⅢ類 「ヒューマンサービス」

生産技術科 3年 野菜果樹研究班 (敬称略)

前列左から／菊池真捺、橋野蘭、立花妃々乃 後列左から／琴畑友基、工藤寛之、遠藤正規



クラブ活動紹介 発表会

生産技術科 2年 農業クラブ役員 (敬称略)

前列左から／佐々木美咲姫、中村颯、瀬川優蘭 後列左から／西田悠志、小森陽太



家畜審査競技会 肉用牛の部

生産技術科 2年 佐々木 脩泰 さん



平成31年度全国食生活改善推進員協議会

名誉会員賞



佐々木 ナカさん
(91歳、宮守町達首部)

佐々木さんは、現役の食生活改善推進員で90歳以上の会員に贈られる同賞を受賞しました。昭和61年に推進員となり、33年以上活動。平成11年には、佐々木さんが発案した「ごまゆべし」の作り手として県食の匠に認定。食文化の発信や継承に取り組みました。佐々木さんは「料理を通じて交流するのが楽しくて活動を続けられた。受賞は皆さんのおかげです」と感謝しました。

第50回岩手県特産農作物生産振興共進会

岩手県特産農作物生産振興協議会会長賞



松崎綾織総代区

代表総代 菊池久人さん(72歳、松崎町)

左から／菊池代表総代、遠野市たばこ振興会 菊池貞一会長、同振興会 伊藤秀忠参与

第50回岩手県特産農作物生産振興共進会で、松崎綾織総代区が同賞を受賞。同総代区は、6つの審査項目のうち4項目で県内最高点を獲得。葉たばこの品質や、品質向上に励む生産体制などが評価されました。

代表総代の菊池久人さんは「関係機関の支援や構成員みんなが努力した結果。今後は、各農家の収穫量・収入増を目指したい」と意欲を新たにしました。

2019全日本一輪車競技大会

全国で華麗に舞う

千田・菊池ペア2連覇 グループ2年連続準優勝 (遠野一輪車クラブ)

同大会は7月14日に群馬県の高崎アリーナで行われ、千田玲那さんと菊池紗穂さんがペア演技中学生の部で2連覇を達成しました。「審査員や観客の人に注目されて緊張したけれど、ミスなく演技できた(千田さん)」「自分たちの持ち味である表現力が評価されて嬉しい(菊池さん)」と優勝の喜びを噛み締めました。また、同クラブの「Salt」は、グループ演技クラスS(9人以下の部)で2年連続の準優勝。リーダーの琴畑歩美さんは「1年間、納得いくまで話し合いを重ねて一人ひとりの課題をクリアしてきた。本番はみんなが楽しんで演技できました」と振り返り、充実した表情をのぞかせました。

1_ペア演技中学生の部優勝 / 千田玲那(遠野中2巻)、菊池紗穂(遠野西中2) 2_グループ演技クラスS準優勝 / 前列左から 小笠原結奈(遠野高1)、吉田歩果(同1)、琴畑歩美(同3)、馬場ひなた(同1) / 後列左から 菊池未優(遠野高1)、千田彩華(遠野中3)、千田玲那、菊池紗穂、吉田日香里(遠野中2) ※敬称略



陸上競技で大活躍！ 短距離種目で3人が県頂点



第65回全日本中学校通信陸上競技岩手県大会

女子共通200m

大洞 直生さん
(遠野東中3)

同大会は6月29・30日に北上総合運動公園北上陸上競技場で行われ、大洞さんが女子共通200mで優勝(記録26秒14)。8月6・7日に福島県で開催される第40回東北中学校陸上競技大会の出場権を獲得しました。大洞さんは「家族のサポートのおかげで優勝できた。目標は10月に行われるジュニアオリンピック出場。レース前半の走りを改善し、標準記録の25秒40を目指したい」と意欲を燃やしました。



第66回岩手県中学校総合体育大会

男子1年100m

菊池 優空さん
(遠野中1)

菊池さんは7月13～15日に北上総合運動公園北上陸上競技場で開催された同大会に出場。男子1年100mで優勝しました(記録12秒36)。菊池さんは、小学5年生から3年連続で県1位に輝くスプリンター。第40回東北中学校陸上競技大会への出場を決め、「課題のスタートを克服して、ジュニアオリンピックの標準記録(11秒62)を出したい。将来は9秒台を目指す」と闘志を燃やしました。



第35回全国小学生陸上競技交流大会岩手県大会

男子5年100m

佐々木 悠希さん
(土淵小5)

同大会は6月23日に北上総合運動公園北上陸上競技場で行われ、佐々木さんが男子5年100mで14秒28を記録し優勝。8月9・10日に横浜市で開催される同交流大会全国大会の出場権を勝ち取りました。佐々木さんは「スタートの練習を繰り返した結果が出てうれしい。優勝の瞬間、お世話になった人への感謝の思いが浮かんだ。初の全国大会を13秒前半で走り抜きたい」と意気込みを語りました。